

令和3年4月に開催した第8回ブロック会議での意見を踏まえ、これまで幹事会を3回、個別協議を2回開催し、第三セクター鉄道やバス運行に関する課題等の整理や地域交通のあり方に関する協議・検討を実施。

区分	開催日	協議・検討事項
幹事会	5月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来需要予測・収支予測調査の精査                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期投資（大規模補修、JR譲渡資産）</li> <li>・ 単年度収支（将来需要予測、減価償却、補助制度）</li> </ul> </li> </ul>
幹事会	6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来需要予測・収支予測調査の精査</li> <li>○ 長万部・小樽間におけるバスルート検討の方向性の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスルート検討の基本的考え方、方向性の検討</li> </ul> </li> </ul>
幹事会	7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第三セクター鉄道運行の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収支予測見直しに係る検討項目についての協議</li> </ul> </li> <li>○ バス運行の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスルート、運行本数、ダイヤの検討</li> </ul> </li> </ul>

区分	開催日	協議・検討事項
個別協議 （余市・小樽）	6月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第三セクター鉄道による運行の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コスト削減が可能となる運行形態などについて検討</li> </ul> </li> <li>○ BRTの検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余市・小樽間でのBRT導入に向けた課題等について検討</li> </ul> </li> </ul>
個別協議 （余市・小樽）	7月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第三セクター鉄道による運行の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有識者を招いて、鉄道維持に向けた方策の検討</li> </ul> </li> </ul>

# 収支予測の見直し（中間報告）について②

4月のブロック会議で示した函館線（函館・小樽間）旅客流動調査・将来需要予測・収支予測調査の結果について、運行方法の見直しによる収支改善や、地域の実情に応じたバスルートなどを検討し、収支予測の見直し（精査）を行った。

## ○ 第三セクター鉄道運行の場合（長万部～小樽）

※ 運行ダイヤは現行のJRと同等と仮定

（単位：億円）

	初期投資	単年度収支		30年累計 （初期投資を含む）
		2030年度	2040年度	
4月報告	191.2	▲ 23.7	▲ 24.3	▲ 926.9
中間報告	152.8	▲ 23.2	▲ 23.9	▲ 874.0
（増減）	38.4億円の削減	0.6億円の改善	0.4億円の改善	52.9億円の改善

### 精査内容（初期投資）

- ・ 予備車両数の見直しによる車両数の減（22両→16両）【23.3億円削減】
- ・ 大規模補修額の見直し（補修実施箇所の見直し）【9.0億円削減】
- ・ JR譲渡資産の精査（JR協議：簿価へ見直し）【6.1億円削減】

### 精査内容（単年度収支 ※2030年度）

- ・ インバウンド等観光客の推計や運賃値上げによる収入増【1.6億円増収】  
（観光客の推計を見直し、運賃を1.3倍に値上げ）
- ・ 小樽駅の業務委託等による費用減【0.5億円支出減】  
（窓口・改札等の業務委託により人件費を削減）
- ・ 除雪費用の見直しによる費用増【1.5億円支出増】  
（豪雪地帯として除雪費用を加算）

## ○ バス運行の場合（長万部～小樽）

（単位：億円）

	初期投資	単年度収支		30年累計 （初期投資を含む）
		2030年度	2040年度	
4月報告	18.3	▲ 2.0	▲ 2.3	▲ 96.0
中間報告	—	—	—	—
（増減）	—	—	—	—

### 今後の検討事項

- ・ 逸走率の考慮
- ・ 国・道からの補助
- ・ 車両の更新費用

バスルートの決定後、これらの事項を考慮した収支について、今後検討し、次回ブロック会議までに精査。

# 収支予測の見直し（中間報告）について ③

## ○ 第三セクター鉄道（小樽～余市）＋バス運行（余市～長万部）の場合】

（単位：億円）

	初期投資（A）	単年度収支（B）		30年累計 （初期投資を含む）
		2030年度	2040年度	
4月報告	64.5	▲ 7.4	▲ 8.0	▲ 311.7
中間報告	56.8	▲ 6.1	▲ 6.8	▲ 268.0
（増減）	7.7億円の削減	1.3億円の改善	1.2億円の改善	43.7億円の改善

### 【内訳】・第三セクター鉄道運行の場合（余市～小樽）

（単位：億円）

	初期投資	単年度収支		30年累計 （初期投資を含む）
		2030年度	2040年度	
4月報告	53.0	▲ 6.3	▲ 6.6	▲ 254.8
中間報告	45.3	▲ 5.0	▲ 5.4	▲ 211.1
（増減）	7.7億円の削減	1.3億円の改善	1.2億円の改善	43.7億円の改善

#### 精査内容（初期投資）

- ・ 予備車両数の見直しによる車両数の減（8両→6両） 【 4.7億円削減】
- ・ 大規模補修額の見直し（補修実施箇所の見直し） 【 0.3億円削減】
- ・ JR譲渡資産の精査（JR協議：簿価へ見直し） 【 2.7億円削減】

#### 精査内容（単年度収支 ※2030年度）

- ・ インバウンド等観光客の推計や運賃値上げによる収入増 【0.7億円増収】  
（観光客の推計を見直し、運賃を1.3倍に値上げ）
- ・ 小樽駅の業務委託等による費用減 【0.8億円支出減】  
（窓口・改札等の業務委託により人件費を削減）
- ・ 除雪費用の見直しによる費用増 【0.2億円支出増】  
（豪雪地帯として除雪費用を加算）

### ・バス運行の場合（長万部～余市）

（単位：億円）

	初期投資（A）	単年度収支（B）		30年累計 （初期投資を含む）
		2030年度	2040年度	
4月報告	11.5	▲ 1.1	▲ 1.4	▲ 56.9
中間報告	—	—	—	—
（増減）	—	—	—	—

#### 今後の検討事項

- ・ 逸走率の考慮
- ・ 国・道からの補助
- ・ 車両の更新費用

バスルートの決定後、これらの事項を考慮した収支について、今後検討し、次回ブロック会議までに精査。